

2026年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目名	日本史探究	単位数	4 単位
教育目標	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
スクーリング	4 時間	合格時間数	4 時間	教科書名	東京書籍 日本史探究
レポート	12 通	合格通数	12 通	副教材名	なし
メディア学習	12 通	合格通数	12 通	その他教材	なし
評価	5段階評価、観点別評価の実施			単位認定試験	9月・2月

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習
4月	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開	人類が日本列島で生活を営み始めた時代から平安時代までを扱い、先史・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	前期2回	NO.1,2	NO.1,2
5月	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史相と中世の展望 第3章 中世社会の展望	平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。		NO.3,4	NO.3,4
6月	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史相と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立	安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。		NO.5,6	NO.5,6
7月	復習	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
8月	復習	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
10月	第3編 近世の日本と世界 第3章 近世社会の展開 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	後期2回	NO.7,8	NO.7,8
11月	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料近現代の展望 第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係	近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係、立憲体制への移行を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。		NO.9,10	NO.9,10
12月	第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展開 2節 国民国家と資本主義の成立 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本 5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済	国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成。アジアと欧米諸国との関係の変容第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容で、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。		NO.11,12	NO.11,12
1月	復習	後期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
2月	復習	後期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			